



ロケーション インテリジェンス
エンタープライズ ロケーション インテリジェンス

Spectrum® Spatial for Cognos

位置情報とビジネスインテリジェンスをシームレスに統合し、新たな発見からビジネスを変革する

今日、企業や政府機関が高いパフォーマンスを実現するためには、組織が保有するデータの背後に潜む意味を理解し、正しい経営の意思決定を下すことが求められており、この実現にビジネスインテリジェンス(BI)システムが有効だと考えられています。

一方、すべてのデータの約80%に地理的な要素が含まれるといわれています。顧客、競合他社、店舗、不動産などの資産、ネットワーク網、保有する施設、流通センターなどはすべて場所に紐づいているという事実を考慮すれば明らかでしょう。地理的なパターンやトレンドを理解できれば、ビジネスのバックグラウンドに埋もれがちな情報を見つけ出すことができ、ビジネスに大きなチャンスをもたらすことは間違いないでしょう。

Spectrum® Spatial for Cognos はBI機能を拡張し、BI環境に地理的情報のビジュアライズと分析機能を組み込みます。組織が保有するデータを地理的な視点から分析することを通じて、通常は見えていなかったビジネスの側面が発見できるはずです。Spectrum Spatial for Cognos は新たな開発が必要ないパッケージソリューションとして提供されますので、導入時に高コストでハイリスクなシステム開発は不要です。したがって、すでに導入済みの技術投資からすぐにビジネスの利益が得られます。

位置情報のビジュアライズ

BIではビジネス情報を容易に理解するためにレポートや表、グラフを活用しますが、地理的なパターンや傾向、地域間の相対的な比較は把握が難しい場合がほとんどです。Spectrum Spatial for Cognos は、Cognosと統合することにより、これらの情報を地図上で表現し、より高度な利活用を実現します。

BIとマップ間の双方向情報操作

Spectrum Spatial for Cognos はレポートからマップへ、あるいは逆にマップからレポートへデータを受け渡す機能を有しています。BIシステムで抽出した情報がどのような分布を示すのかマップ上で確認したり、マップ上の分布から特定の範囲を指定してBI側に戻した上で、改めて特性を分析するなどの活用が可能です。

地理的なフィルタリング

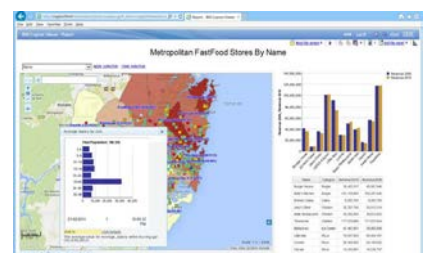
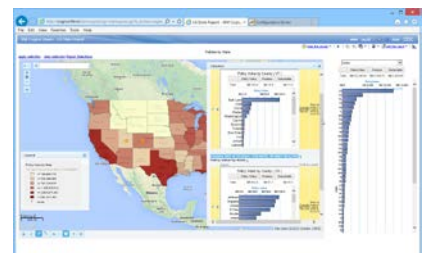
マップ上で領域を指定するなどの地理的なフィルタリングを行って複数のレポートを比較することにより、分析対象の属性に応じた地理的な影響を明確に示すことができます。

BIデータのエンリッチメント

一般的にはBIシステム単体では利用しない人口統計やライフスタイルなどの地域特性情報、災害リスク情報などの地理的な外部データを統合的に活用することで、より説得力のある市場規模の把握やリスクの数値的評価などが即座に得られます。経営層による重要な経営上の意思決定にメリットがあります。

導入メリット

- 既存のSpectrum Spatialの高機能な位置情報機能をCognosのダッシュボード内で活用できます
- 柔軟性の高い空間分析を誰もがアクセス可能な環境で利用できます
- 操作が容易なので、専門のトレーニング不要で位置情報ソリューションを導入できます
- コネクタを追加することで、Cognos以外の複数のBIシステムとも連携が実現します



その他の重要なポイント

フレキシブルなライセンス体系

Spectrum Spatial for Cognos は、サーバのCPUに対するライセンスでユーザー数を制限せず使用することができる一方、実際の利用者数だけライセンス購入を行うことも可能です。Spectrum Spatial for Cognos のサーバライセンスがあれば、Cognos以外のBIシステムを導入している場合、これらを複数の「クライアント」として運用することも可能です。導入時にはサーバライセンスと一種類のBIシステムをクライアントとして運用するようなライセンスでスタートし、のちに別のBIシステムを追加導入するような場合でも、ライセンスをいつでも追加できます。あわせてテクニカルサポートと保守サービスも提供しています。

ケーススタディ



流通・小売

- 収益性の高い出店候補地を特定
- 店舗周辺の優良顧客を特定して効率的な来店プログラムを実施
- 商圏の特性に応じた品揃えを行い売上を最大化



金融・保険

- 店舗網を最適化して営業テリトリー内の経営リソースを最適化
- 担保物件の管理業務を効率化
- 損害保険引受時のリスクを地理的条件から判定



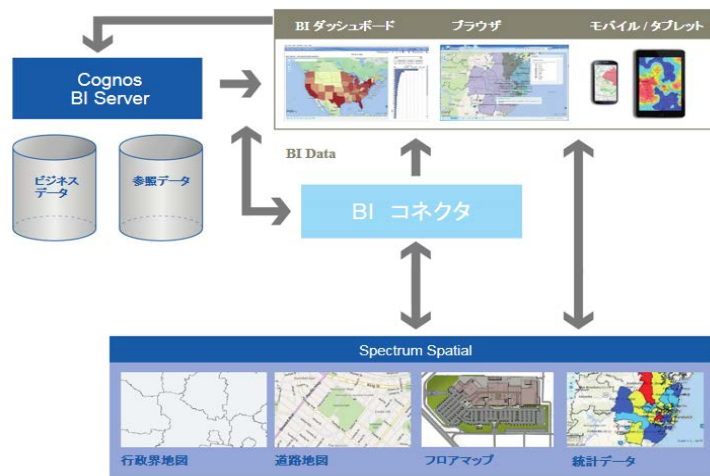
通信

- 人口カバー率などを考慮した通信ネットワークの構築
- クレームに対する的確な対応を実現



ヘルスケア

- 電子カルテに基づく地理的な患者分析をもとにした病院経営の最適化
- 製薬業界におけるMRの営業テリトリー最適化
- 疫学上の地理的分析



その他のメリット

- 地理的なドリルアップやドリルダウンを行えます
- ユーザーインターフェースのカスタマイズが可能です
- 統計データ、デモジオグラフィックデータ、行政界データ、リスクデータをはじめとしたピツニーボウズがワールドワイドにカバーする地図データが活用できます (オプション)
- 世界中のジオコーディングサービスが利用できます (オプション)
- 世界中のルート探索およびドライブタイム作成が可能です (オプション)
- 住所情報の正規化、フォーマットの統一、重複データの検出などを実現するデータ品質ソリューションの活用が可能です (オプション)

動作環境

■オペレーティングシステム:

- Windows® Server: 2008 R2, 2012
- Ubuntu®: 12.04
- Solaris®: 10, 11

■空間データベース:

- Oracle®: 10, 11
- SQL Server Spatial 2008
- PostGres 8+ (PostGIS 2.x)
- SQLite

■ブラウザ:

- Internet Explorer®: 8, 9
- Mozilla Firefox®: 10以降
- Google Chrome™: 17以降
- Safari (Mac OS X)

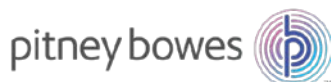
■Open Geospatial Consortium (OGC)の規格に対応します:

- Web Map Service (WMS): 1.0, 1.1, 1.3
- Web Feature Service (WFS): 1.0

詳細は、
ピツニーボウズ・ソフトウェア
または、
製品販売パートナーまで
お問い合わせください

発売元

ピツニーボウズ・ソフトウェア株式会社
〒150-0012
東京都渋谷区広尾1-1-39
プライムスクエアタワー13階
TEL: 03-6805-1155/ FAX: 03-6805-1123
E-mail: PBBI-Japan@pb.com
Web: <http://www.mapinfo.co.jp>



Pitney Bowes, the Corporate Logo and Spectrum are trademarks of Pitney Bowes Inc. or a subsidiary. All other trademarks are the property of their respective owners.

© 2014-2015 Pitney Bowes Inc. All rights reserved.

この内容は予告なしに変更する場合があります。ここに記載されている製品およびサービス名は、各社の商標です。

15DCS10042_JPN